



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2010.6

No. 314

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



埼玉県支部探鳥会記録データより (その2)

山口芳邦(新座市)

今月号は今年の『しらこぼと』1月号の続きで、年毎、月毎の出現種数の変化について検証してみました。対象は前回(2010年1月号)同様1995年以前から現在まで継続している26探鳥地です。年度別比較上、26探鳥地すべてを含む1995年以降の15年間をピックアップしました。データは『しらこぼと』5月号記載の2009年12月探鳥会までの記録を含んでいます。

「26探鳥地」は次のとおりです。

[さいたま市三室地区 さいたま市秋が瀬公園 さいたま市さぎ山記念公園 さいたま市大宮市民の森 さいたま市見沼自然公園 さいたま市民家園周辺 熊谷市大麻生 加須市(旧北川辺町)渡良瀬遊水地 本庄市坂東大橋 所沢市狭山湖 長瀨町宝登山 長瀨町長瀨 寄居町玉淀河原 志木市柳瀬川 久喜市久喜菖蒲公園 蓮田市黒浜沼 坂戸市高麗川 東松山市物見山 北本市石戸宿 滑川町武蔵丘陵森林公園 上尾市丸山公園 川越市西川越 狭山市入間川 行田市さきたま古墳公園 深谷市仙元山公園 春日部市内牧公園]

ちなみに26探鳥地の探鳥会回数は全体の74%を占めています。

表1 「26探鳥地」の年度別出現種数推移(番外種は2008年1月より記録開始)

年度	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	合計など
総出現種数	124	127	131	124	128	120	138	127	122	120	117	127	132	123	119	187
(内番外種数)														(2)	(3)	(3)
探鳥会回数	70	80	72	69	74	72	75	74	73	71	77	80	75	80	75	1,117
一回あたり出現種数	31.7	31.8	31.8	32.5	33.4	32.8	32.7	32.7	31.6	32.3	31.6	31.8	32.6	31.4	34.2	32.4

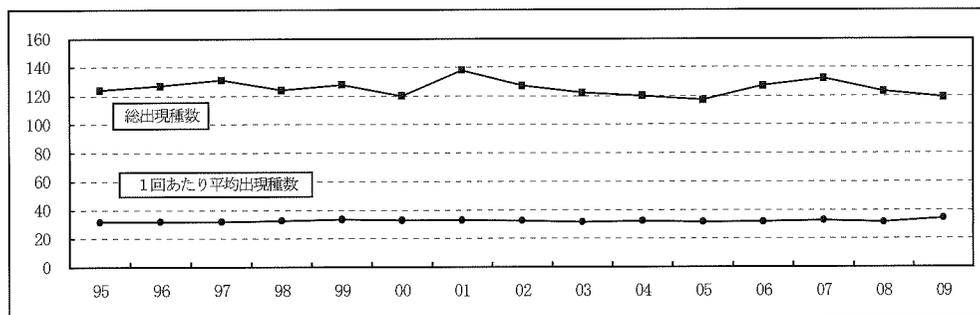
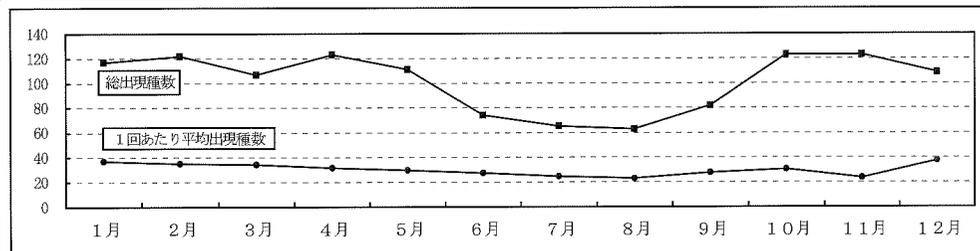


表2 「26探鳥地」の月別出現種数

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計など
総出現種数	117	122	107	123	111	74	65	63	82	123	123	109	187
探鳥会回数	124	156	115	109	62	69	56	41	54	102	132	97	1,117
一回あたり出現種数	37.0	34.9	34.4	31.8	29.7	27.4	24.5	22.9	27.8	30.4	23.5	37.6	32.4



1. 年度別出現種数推移(表1参照)

総出現種数、1回あたり平均出現種数とも年毎に若干の変化はありますが、大きく見ると増減の傾向は見られません。但し、生息数の増減は出現数の記録がありませんので不明です。出現率の増減が比較的大きかった鳥種については今年の『しらこぼと』1月号をご覧ください。

2. 月別出現種数(表2参照)

夏場の記録は冬場に比べ、総出現種数、1回あたり平均出現種数とも大きく減少しています。留鳥の出現率も夏場は減少しているものが多い傾向にあります。夏鳥は冬鳥に比べ見られる種類が少ないこと、また留鳥も繁殖のため山間部や森などに移動するものが多い、繁った葉により見えにくくなることなどが理由にあげられるのでしょうか。但し、留鳥でもキジ、コジュケイは4～7月の出現率が高くなっています。2008年から番外種として記録を始めたガビチョウも夏場のほうが出現率が高くなっています。コジュケイもガビチョウも姿より鳴き声での確認が多いので葉の繁る夏も関係ないですね。ところでガビチョウは記録を始めてからの出現率が25.8%と高く、同じ期間のオナガの28.4%に迫っています。オナガの出現率は年々減少の傾向にありますので、

区分	出現回数	比率	出現種数	比率
留鳥	38,417	78.7%	80	42.8%
冬鳥	6,138	17.0%	60	32.1%
夏鳥	1,458	4.0%	32	17.1%
旅鳥	107	0.3%	15	8.0%
計	36,120	100.0%	187	100%

近いうちに逆転するのではないのでしょうか。

左の表は留鳥、冬鳥、夏鳥、旅鳥に分類した26探鳥地、15年間の記録です。迷鳥の出現記録はありませんでした。これを見ても夏場の記録が少ないことに納得できますね。

3. その他

データ整理の過程で気がついたことに次のようなものがあります。

☆オオバン

1984～1995年の12年間の記録は6回のみ。それが1996年から記録が増え始め、1998～2009年の12年間では145回。2001年以降はずっと20%以上の出現率となっています。

☆カワウ

カワウは研究部で毎年調査を行っていますが、探鳥会記録では1984～1987年の4年間での記録は1回のみ、ところが1988年から突然増加しはじめ、1997年以降は出現率90%前後で推移しています。

☆アトリ、シメ、ウソ

これは皆さんの記憶に新しいところと思いますが、2008～2009年にかけての冬はアトリとシメの出現率が突然急増しました。特にアトリはそれまでの5倍以上の出現率となっています。ウソは26探鳥地で1995年以降、33回の記録がありますが、そのうち約半数の16回が2006年から2007年にかけての1シーズンに集中しています。その後の記録はありません。あれだけいたウソは今何処にいるのでしょうか。

☆シラコバト

26探鳥地では2007年までは減少し続けながらも毎年記録がありました。それが2007年の1回を最後に記録が途絶えています。26探鳥地以外でも2004年には松伏町まつぶし緑の丘公園、松伏町松伏記念公園、加須市渡良瀬遊水地、加須市加須はなさき公園で計6回記録されていますが、年々減少し、2009年には松伏町まつぶし緑の丘公園と幸手市宇和田公園でそれぞれ2回と1回のみ、まさに風前の灯といったところです。来年以降はどうなるのでしょうか。

☆報告

1995年から始まった26探鳥地の出現回数レースでは、ヒヨドリが1108回で2位のズメとキジバトを4回リードして優勝しました。ご報告します。

「緊急連絡カード」装着にご協力ください

日本野鳥の会埼玉県支部長 藤掛保司

当支部では、2010年4月1日以降の探鳥会より、参加者を対象として先着1,000名様に「緊急連絡カード」を無料配布しています。その趣旨は、『しらこぼと』2010年3月号12ページ連絡帳欄「探鳥会での緊急連絡カードを準備中」をご覧ください。

第1回目の配布は、4月3日（土）加須市渡良瀬遊水地探鳥会です。

「今まで無かったのが不思議ですね」、「グットアイデア」との声が聞こえてきました。参加者の多くの方々から好評でした。

第2回目は、4月4日（日）北本市石戸宿定例探鳥会とさいたま市民家園周辺定例探鳥会で配布しました。

その後の探鳥会では、カラフルな自筆の名前（ニックネームでもよいのです）の方、ご自身が撮影した野鳥写真入りの方、野鳥のシール添付の方、名刺を添えた方など、



それぞれわかりやすく工夫された緊急連絡カードがたくさん見受けられ、普及ぶりにうれしくなりました。また、ケースも手持ちの物や、新たに購入された方々もいらっしやいました。

ある幹事が話していましたように、この「緊急連絡カード」の運動が全国90支部への水平展開になれば喜ばしい事と思います。
(関連記事12ページ)

野鳥記録委員会の最新情報

日本野鳥の会埼玉県支部

●キマユムシクイ？



2009年10月13日さいたま市内で撮影された鳥がキマユムシクイかもしれないと、2010年4月、4枚の写真が寄せられました。

キマユムシクイはスズメ目ウグイス科メボソムシクイ属、全長11-12cmで、淡黄褐色の明瞭な眉斑、2本の黄白色の翼帯などの特徴が知られています。

寄せられた写真でも2本の翼帯が見えま

すが、その他を見ると、キマユムシクイの大きな特徴「三列風切外弁の明瞭な淡黄白色の縁取り」が、写真を拡大精査してもまったく見えません。眉斑の色と形が、キマユムシクイよりメボソムシクイに近い様に見えます。キマユムシクイの細く小さく上が黒、下基部が黄褐色である嘴に対し、長く大きく、上嘴が黒いとは言えません。足と足指の色が、暗色であるキマユムシクイに対し、メボソムシクイの様にかなり明るい色です。体型なども含めて幅広く検討した上で、記録するかどうかの判断を任されている記録委員会としては、現在知られている知見とこれらの写真を比較した限りでは、キマユムシクイとして記録できない、という結論になりました。

県内では、1993年9月に川口市内でガラスにぶつかり保護され、埼玉県生態系保護協会がキマユムシクイと同定したという新聞報道があり、これが唯一の確認例です。



野鳥情報

さいたま市見沼区膝子 ◇2月26日、耕作地の中、高さ5m程の1本の木にハシボソガラスが5羽とまっていた。それを何とか飛び立たせて襲おうと、ハヤブサ1羽が何度も上空から急降下しては、脅かしていた。やがて、カラスが1羽飛び立ったのを追いかけて行ったが、狩りは失敗したようだった（鈴木紀雄）。

さいたま市見沼区丸ヶ崎 ◇3月3日午後2時、綾瀬川西岸でキジ♂2羽飛来し、採餌。「ケンケン」と鳴いて飛んで行った。なぜ♂同士なのだろう。コジュケイ鳴く。イソシギ1羽、コガモ27羽、カシラダカ約20羽、スズメ約60羽、ツグミ、アオジ、ホオジロなど（本多己秀）。

さいたま市岩槻区野孫 ◇2月26日、ケリ1羽。3月10日、屋敷林でカラスに囲まれるオオタカ若鳥1羽。3月18日、ケリ1羽（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇2月27日、アカゲラ♂1羽、ハシビロガモ♂2羽♀など。3月12日、キジ♂、アカゲラ♀、セグロカモメ、モズは番い作り、ウグイスのさえずりなど。3月14日、キジ♂♀、ルリビタキの地鳴き、遠くからガビチョウのぐぜり（鈴木紀雄）。◇3月11日、ウグイスがあちこちでさえずる。シメ、シロハラなど（藤原寛治）。

さいたま市岩槻区岩槻～宮町 ◇3月8日、元荒川でコガモ、カルガモ、ハシビロガモ



カケス（新井巖）

5羽、カイツブリ3羽、バン、カワウ、セグロカモメ1羽、タヒバリ3羽、カシラダカ約30羽、ホオジロ3羽など（本多己秀）。

さいたま市緑区南部領辻 ◇3月2日、車道脇のメタセコイアの街路樹でノスリ1羽（鈴木紀雄）。

さいたま市緑区大門 ◇3月10日、飛来したハヤブサがイオン浦和美園店の屋上へ降りて行った（鈴木紀雄）。

さいたま市緑区間宮 ◇3月10日、オオタカ成鳥♂1羽、かなり遠方の木にとまっていた（鈴木紀雄）。

さいたま市桜区秋ヶ瀬公園 ◇3月26日、トラツグミ1羽、「ヒュー、ヒュー」とぐぜり。ヒレンジャク2羽（海老原美夫）。

蓮田市根ヶ谷戸公園 ◇3月1日、カワラヒワ約20羽、カケス、ツグミ4羽など（本多己秀）。

蓮田市西城沼公園 ◇3月5日、ここでは珍しく、陽だまり斜面にホオジロが2羽。つがいのようだ。数羽のハシボソガラスが林の中で追いかっこ。よく見ると中の1羽が肉片の付いた黒い羽根をくわえていた。3月15日、エナガ3羽がシジュウカラ3羽、メジロ2羽と植木畑を行ったり来たり。3月22日、ヤマガラ1羽、カシラダカ4羽がイヌシデの枝に。チョウゲンボウがホバリングして屋敷林に消えた。（長嶋宏之）。

蓮田市黒浜東埼玉病院 ◇3月5日、シロハラ2羽、道路に出て、採餌していた。カシラダカ約20羽、エナガの群れ、3群。アカゲラ1羽、コゲラ3羽、アオジ、コジュケイ、ウグイスなど。ウグイスはあちこちで初音を聞いた。3月6日、昨日初音を聞いたばかりのウグイスだが、とてもうまくさえずっていた。ウソ、今季初。シメ9羽、アオジ、カシラダカ、シロハラ、ジョウビタキ、ヤマガラ、キジ、コジュケイなど。3月8日午前7時20分、ハイタカ1羽、ごく近くを低く速く飛んだ。ほぼ同時刻、コミズク1羽、近くを低くゆるく飛んだ。イカル1羽、2006年以来的の確認。シメ8羽、カシラダカ、アオジ、ホオジロ、ジョウビタキ♂、ウグイスなど。3月13日午前8時

～9時30分、オオタカ1羽、50mほど先の枝にとまっていた。キジ鳴く。ウグイスのさえずりが美しくなった。イカル、エナガ約10羽、シロハラ、コゲラ、シメ、アオジ、カシラダカ、モズなど。3月16日午前7時30分～9時、イカル4羽、エナガ5～6羽、アカゲラ、シロハラ、カシラダカ約20羽、ジョウビタキ♂♀、シメ4羽、カケスなど。3月18日、アカゲラ。シメ、多数。イカル7羽、ホオジロ8羽、カシラダカ、アオジ、ツグミ、ウグイスなど（本多己秀）。

蓮田市黒浜沼 ◇3月5日、カシラダカ、オオジュリン6～7羽、コガモ、カルガモ、カイツブリ、久々のコサギ1羽、アオサギ1羽、オオバン8羽など。3月11日、オオタカ1羽、青空に美しく舞った。タヒバリ7羽など。3月16日午前9時過ぎ、クイナ1羽、水際でしっかり見られた。オオバン、コガモ20羽、キジ♂1羽など。3月23日、ツバメ4～5羽飛び回る。今年初めて見た（本多己秀）。

児玉郡神泉村神流湖畔・城峰公園 ◇3月8日、神流湖畔でトビ数羽、その内にミサゴが湖面から飛出す。これにハヤブサが現れモビング、ノスリも一瞬現れ飛び去った。平日で全く人気のない城峰公園でカラ類の混群、ウソ♀♀6羽、アオゲラなど（鶴飼喜雄・倉崎哲郎・町田好一郎）。

坂戸市浅羽ビオトープ ◇3月10日、前日からの降雪が積もったビオトープで、亜種オオアカハラ1羽。雪のない木の下で、ウッドチップをパツパと払い、採餌行動をしているようだった。ネムノ木広場では、高麗川の流れ上空を飛び交うツバメ数羽が見られた。今季初認。対岸の木には、ノスリ1羽、オオタカ1羽。河川敷の雪の上に、ホオジロやカワラヒワの姿が多かった。観察路沿い水路ではクイナ1羽（増尾隆）。

熊谷市県営荒川大麻生公園 ◇3月11日、「野鳥の森」で前日の雪がそこだけない常緑樹の根元の芝生に16羽のシメが群れて採餌して、雪がまばらに融けた土手ではビンズイ7羽が採餌していた。我々を警戒したのか生垣の中でウグイスが大きな声で谷渡り。

その他シロハラ、ベニマシコ、キジ♂、オオタカ、ノスリなど（長嶋宏之）。

越谷市大吉調節池内野鳥保護ゾーン ◇3月12日午後4頃～日没まで、ツバメ、今年初確認。昨年は3月14日でした。カシラダカ6羽、罫入りを確認出来た。昨年アトリの群れが罫（埼玉鴨場）入り前に立ち寄った場所（藪とアシ原）に飛来し、暗くなっても飛び立たない。他にタシギ5羽（昨年は6羽）、1月10日から居ついている。アトリは如何したのだろうか。不思議??（大塚操）。

戸田市彩湖 ◇3月16日西岸でウグイス初囀。「ホーホケキョ」と模範的な鳴き方。ヨシガモ10数羽、岸に上がって草を食べたり、ディスプレイ、争いなど、なにかと忙しい。ハジロカイツブリ1羽、冬羽から夏羽に換羽中。カンムリカイツブリ数10羽、ほとんど夏羽に換羽が進んだ。ベニマシコ♂成鳥1羽、♂若鳥1羽、♀3羽、ヤナギの新芽をもりもり。ツグミ1羽、オオイヌノフグリなどの花の中に座り込んで、眠そうな顔。気温20度を超えて、春うらら（海老原美夫）。

川越市寺尾調節池、新河岸川 ◇3月20日午前6時～10時、ツバメ初認、クイナ2羽、タシギ2羽、シメ。アカハラ2羽、きれいな個体だった。キジ、声と♀1羽。カワセミ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オオタカ、アオジ、ホオジロ、オオジュリン、ヒバリ、オオバン、バン、カワウ、カイツブリ、モズ♂♀、ツグミなど（藤掛保司）。

神川町下久保ダム ◇3月22日、右岸でイソヒヨドリ♂1羽。水面に溜まったゴミと水際のコンクリートの間を行き来していた。しばらくして、取水設備の中へ消えていった（鈴木敬）。

滑川町武蔵丘陵森林公園 ◇3月26日、イカル6羽、ケヤキの枝にとまっていた（寺山聖二）。

表紙の写真

キジ目キジ科キジ属キジ

徳名貴房(さいたま市)



行事案内



セグロセキレイ (町田好一郎)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章の担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費:就学前の子無料、会員と小中学生 50 円、一般 100 円。**持ち物:**筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。**解散時刻:**特に記載のない場合、正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止。小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：6月5日(土)

集合：午前9時、東武越生線川角駅前。

交通：東武東上線川越8:10→坂戸で越生線乗り換え8:39発。または寄居7:38→小川町乗り継ぎ、坂戸で越生線乗り換え。JR川越線大宮7:35→川越で東武東上線乗り換え。

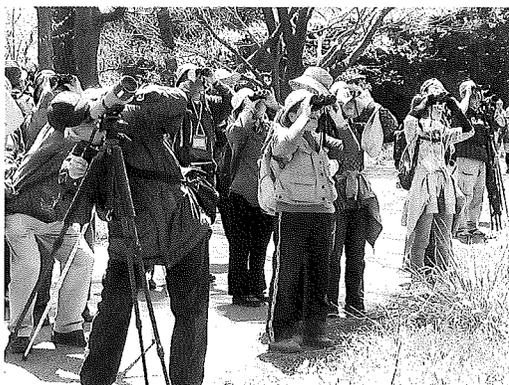
担当：山口、青山、久保田、志村、杉原、高草木、高橋(優)、林、藤掛、藤澤、増尾、持丸、山田(義)

見どころ：初夏の身近な野鳥を楽しみましょう。6月の探鳥会では例年30種ほど確認されています。昨年はオシドリやオオタカも見られました。今年はどうでしょうか。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：6月6日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。



4月25日の秋ヶ瀬探鳥会

交通：JR高崎線北本駅西口アイメガネ前から「北里メディカルセンター病院」行きバス8:32発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原、浅見、岡安、大坂、内藤、立岩、永野(安)、山野、長谷川

見どころ：石戸の森も、緑が日々に深くなり、鳥の姿が見えにくい時季になりました。声を頼りの探鳥会になりそうですが、こんな時には、木々や足元の草花にも目を向けて、大地の自然も観察しましょう。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：6月6日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅東口②番バス乗り場から、「東川口駅北口」行き8:37発で、「念仏橋」下車。

後援：浦和くらしの博物館民家園

担当：手塚、伊藤(芳)、倉林、若林、新井(勇)、赤堀、須崎、藤田(敏)、野口

見どころ：もうすぐ梅雨の季節、そろそろむし暑さも感じるころ。緑も陽光に映えて美しい中、巣立ち雛たちも姿を見せてくれるでしょう。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：6月13日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9:09発、寄居8:51発に乗車。

担当：千島、森本、中里、大澤、倉崎、高橋(ふ)、
後藤、藤田(裕)、栗原、飛田、新井(巖)、
榎本(秀)、鶴飼、岡田

見どころ：梅雨入りの季節で天候が心配で
すが、晴れることを期待して、巣立ったば
かりの幼鳥の可愛い姿を探しましょう。カ
イツブリの幼鳥が背中に乗っているところ
が見られたらうれしいですね。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：6月19日(土)午後3時～4時ころ

会場：支部事務局 108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：6月20日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅
東口、集合後バスで現地へ。または午前9
時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、倉林、渡辺、若林、小管、
赤堀、新部、青木、増田、宇野澤、須崎、
船木

見どころ：越谷のAさんや大原のMさん、三
室のFさんなどたくさんの鳥見人が、毎日、
少しずつ変化する見沼田んぼの風景と鳥た
ちをウォッチして、伝えてくれます。「さ
さやかな穴場もあるかも」。カッコウの
声を聞きに、ぜひ三室にお出かけください。



4月29日のシギ・チドリ類調査



大坂幸男 新事業部長(記事12ページ)

支部総会のご案内

日時：6月27日(日)

午後1時00分 受付開始

午後1時30分～2時30分 記念講演

午後2時30分～4時30分 総会

会場：さいたま市民会館うらわ(さいたま市
浦和区仲町2-10-22)7階705-706集会室

交通：京浜東北線浦和駅西口から県庁通りを
西へ。埼玉会館手前角右折。玉蔵院を通り
抜けて約400m左側。徒歩約10分。

記念講演：財団本部普及室普及教育グループ
岡本裕子さん「テーマは『自然を守る仲間
を増やす“グリーン・ホリデー”プロジェ
クト』。野鳥とその生息環境を守る活動を、
体験から理解してもらうことを目的に、昨
年からスタートしたボランティア・プログ
ラム“グリーン・ホリデー”の活動成果、
今後の展望をお話します。英国ナショナ
ル・トラストやRSPBの先進的なボラン
ティア活動事例もご紹介します。」

総会議題：平成21年度事業報告と決算報告、
平成22年度事業計画案と予算案、平成22
年度役員の選出、改定新規約案。

参加資格：支部会員であればどなたでも参加
できます。前年度の活動を振り返り、新年
度の予算や方針を決める大切な総会です。
今回は公益法人制度改革にともなう規約改
定の議案もあります。多数の方のご参加を
お待ちしております。

◆総会後には、支部事務局内での懇親会も予定
しています。



行事報告

11月3日(火、休) 松伏町 まつぶし緑の丘公園

参加：55名 天気：晴

カイツブリ カワウ チュウサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ バン シラコバト キジバト ハクセキレイ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (19種) (番外：ドバト) 今シーズンから開催を2回に増やした。池に来ているカモの数も少なく毎年来ているミコアイサの姿も未だ見えない。怪我をしているのであろう帰りそびれたチュウサギの姿が哀れを誘う。周辺の屋敷林でも冬の小鳥の姿が少ない。シラコバトの数も最近めっきり少なくなってきているが、期待に応じて姿を見せてくれた。開催開始以来最高の参加者数となったが、観察鳥種数はぱっとしなかった。(橋口長和)

11月21日(土) 春日部市 内牧公園

参加：45名 天気：晴

ダイサギ コサギ オオタカ キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (25種) (番外：ドバト) 久しぶりに訪れた内牧公園であるが、周辺の開発が進んで、野鳥の森先の藪地にも大きな家が数軒新築されていた。水場の無い公園では、屋敷林の冬鳥を丹念に探すがジョウビタキ、アオジ、シメも数が少ないように感じる。しかし、田んぼでは定番のタヒバリが十分に楽しませてくれた。(橋口長和)

12月27日(日) 幸手市 宇和田公園

参加：48名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ カルガモ コガモ オオタカ チョウゲンボウ イソシギ タシギ シラコバト キジバト カワセミ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ

リ モズ ジョウビタキ トラツグミ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (35種) (番外：ドバト) 早朝からの強い風も収まり、絶好の探鳥日和となった。スタートして中川水路の土手の上に出ると、トラツグミが出て皆を驚かす。同時にベニマシコも現れて、どっちに目を向けていいやら贅沢な戸惑い。ベニマシコはその後も何度も出てくれた。畑に出ると、オオタカが上空を舞ってくれた。ある人は「首が痛い」と言いながらも歓声を上げていた。目標にしていたシラコバトも出てくれて、暮のひととき楽しい時間を過ごすことができた。

(中里裕一)

1月4日(月) さいたま市 さぎ山記念公園

参加：34名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ オオタカ チョウゲンボウ バン オオバン タゲリ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (39種) (番外：ドバト) 初めて平日開催になり参加者は少なめだが、まず出発点近くの水路でキセキレイ・ハクセキレイ・セグロセキレイの3種が競演。歩けば、オオタカ・タゲリが空を舞い、ジョウビタキ♂♀があちこちで尾を振って、シロハラが間近で、前後左右裏表をゆっくり見せてくれた。年に1度の野外懇親会も暖かさに包まれ、いつも通りアカショウビンたちのさえざりが飛び交った。(海老原美夫)

1月6日(水) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加：39名 天気：晴

カイツブリ カワウ アオサギ オシドリ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ コジュケイ バン カワセミ アオゲラ アカゲラ コゲラ ハクセキレイ ヒヨドリ ルリビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス キクイタダキ エナガ ヤマ

ガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ ミヤマ
 ホオジロ アオジ ベニマシコ スズメ ムクド
 リ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス
 (37種) (番外：ガビチョウ、ソウシチョウ) まず
 はエナガ・シジュウカラ・コゲラの混群がお出迎
 え。西田沼ではオシドリ♀1羽。落ち葉を踏みし
 めながら、ミヤマホオジロ・ベニマシコ・ルリビ
 タキ、久しぶりに、キクイタダキにも会えた。下
 見では、あざみくぼ沼に、トモエガモ♀1羽が
 いたが、本番では留守。鳥合わせ中に、ジョウビタ
 キが仲間入り。アフターは、中村さんの案内で、
 20数名と園内を廻り、トラツグミ等、8種も増え
 た。(藤掛保司)

1月9日(土) 千葉県 ふなばし三番瀬海浜公園
 参加：40名 天気：快晴

ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ
 コサギ アオサギ コクガン ヒドリガモ オナ
 ガガモ ホシハジロ スズガモ ビロードキンク
 ロ シノリガモ ホオジロガモ ウミアイサ ミ
 サゴ オオバン ミヤコドリ シロチドリ ダイ
 ゼン ハマシギ ミユビシギ イソシギ ダイシ
 ャクシギ ユリカモメ セグロカモメ カモメ
 ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョ
 ウビタキ イソヒヨドリ ツグミ メジロ アオ
 ジ オオジュリン スズメ ムクドリ ハシボソ
 ガラス (39種) (番外：ドバト) 快晴の三番瀬は鳥
 だらけ。ハマシギの群れの脇を驚かさないように
 通り過ぎる。突堤の東にはシノリガモ、ビロード
 キンクロ、コクガンも見られた。コクガンは4年
 目のリベンジとなった。(杉本秀樹)

1月10日(日) 熊谷市 大麻生
 参加：30名 天気：晴

カワウ カルガモ トビ オオタカ ハイタカ
 ノスリ キジバト アカゲラ ハクセキレイ ヒ
 ヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ シロハ
 ラ ツグミ ウグイス エナガ ヤマガラ シジ
 ユウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ ミヤ
 マホオジロ アオジ カワラヒワ イカル シメ
 スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガ
 ラス (31種) (番外：ガビチョウ、ソウシチョウ、
 ドバト) 出発前に駅横にある桜にシメ、イカルが
 出現。途中では、ノスリ、ハイタカが割りに低空
 を飛行。最終地点の池ではシロハラ、ヤマガラ、

またソウシチョウも10羽ほど姿を見せてくれた。
 1月にしては穏やかな、暖かい1日だった。
 (後藤康夫)

1月10日(日) 久喜市 久喜菖蒲公園
 参加：41名 天気：晴

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ゴイ
 サギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オ
 カヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ホシハジ
 ロ キンクロハジロ スズガモ オオバン キジ
 バト カワセミ コゲラ ハクセキレイ ヒヨド
 リ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シ
 ジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ オオジ
 ユリン カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボ
 ソガラス ハシブトガラス (34種) (番外：ドバ
 ト) 水辺に着くと散在するカモ達の中にオカヨシ
 ガモのペアが間近に見られて盛り上がった。さら
 に昨年までは1～2羽しか見られなかったカンム
 リカイツブリが7～8羽も見られて驚かされた。
 沼を1周しても期待のトモエガモは不在であつた
 が、ヨシガモなど合計10種のカモを含めて34種
 の出現鳥をのんびりと見ることができたことに満足
 しよう。(玉井正晴)

1月10日(日) 戸田市 彩湖
 参加：37名 天気：晴

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツ
 ブリ カワウ マガモ カルガモ コガモ ヨシ
 ガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ
 キンクロハジロ オオタカ ノスリ チョウゲン
 ボウ バン オオバン ユリカモメ セグロカモ
 メ キジバト コゲラ ハクセキレイ ヒヨドリ
 モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ
 シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ
 アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ
 ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ
 ラス (41種) (番外：ガビチョウ、ドバト) 出発し
 てすぐの池で、バン、オオバン、マガモ4羽、オ
 ナガガモ1羽、シメ等を見て湖へ。管理橋を渡っ
 て北に向かう。大サービスのジョウビタキを見て、
 最北のピオトープでベニマシコ♂に出会う。右の
 湖にはヨシガモ、オオバン、その向こうにはキン
 クロハジロの群れ、機場を右に見て東に向かい解
 散地点に。鳥合わせ中にノスリ2羽、オオタカが
 出て終了となった。(倉林宗太郎)

1月11日(月、休) 春日部市 内牧公園

参加者: 47名 天気: 曇

コサギ タシギ キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ ホオアカ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) (番外: ドバト) 曇り空ながら雲間明るく風弱くまずまずの探鳥日和。今冬は鳥の数が少なかったが、ツグミ類3種が揃い踏み、中でも立ち木の横枝に止まるツグミとアカハラ雄のツーショットは参加者全員の目に焼き付けられたと思う。(石川敏男)

1月17日(日) 北川辺町 渡良瀬遊水地

参加: 47名 天気: 晴

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ミコアイサ カワアイサ ミサゴ トビ ノスリ チュウヒ ハヤブサ チョウゲンボウ オオバン タゲリ セグロカモメ キジバト ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (49種) (番外: ドバト) 谷中湖は干し上げが始まり水位を下げている。水鳥類は少なく遠い。それでも中ノ島の観察台でマガモをはじめ数種観察。西橋から1つの浮島にチュウヒとノスリが止まっているのが見えた。カワアイサ♀もよく見られた。ハヤブサ♀が食事中、♂が見守っていた。今回もジックリ観察できた。延命院を右手に見るところで突然シロハラ出現。オオジュリン、シメ等いつもの冬のメンバーも姿を見せた。暖かい冬晴れの青空の下、拍手で解散。(内田孝男)

1月17日(日) さいたま市 三室地区

参加: 52名 天気: 晴

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ オオタカ ノス

リ チョウゲンボウ クイナ バン オオバン イカルチドリ タシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (43種) 毎年、年初は芝川・大道橋の上流に出掛ける。お目当てのヨシガモが15羽見られて、カモ類は7種。クイナ、タシギ、カワセミも太陽を浴びて綺麗だった。猛禽類もノスリ、オオタカ、チョウゲンボウと3種大空高く飛翔する。出現鳥も43種と多く、参加者の笑顔で今年も出足好調で終了した。(楠見邦博)

1月23日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 12名

新井浩、池田泰右、海老原教子、海老原美夫、倉林宗太郎、佐久間博文、志村佐治、武井暁嗣、藤掛保司、松村禎夫、吉原早苗、吉原俊雄

1月24日(日) 長瀨町 長瀨

参加: 48名 天気: 晴

カイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ トビ オオタカ ノスリ クマタカ イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ アオゲラ アカゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ カワガラス ミソサザイ ルリビタキ ジョウビタキ アカハラ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ ベニマシコ イカルシメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (45種) (番外: ガビチョウ) 風のない冬晴れにめぐまれてスタート。歩き出して程なく後方からクマタカ出現の声。半信半疑でスコープを向け姿を確認。周りからどよめきが(私は大興奮)。赤松で羽を休めるクマタカはカラスのちょっかいを相手にせず、時折見える冠羽は王者のしるし。とにかく大きい……。その間に、オオタカ、ノスリ、カワセミ、アカゲラ、アオゲラなど見られ、あっという間に11時ごろとなり、次の鳥見ポイントに。ヤマセミは結局見られなかったが、充実した探鳥会となった。(井上幹男)



●新規約案の検討さらに進行中

昨年 12 月号本欄で、新規約案の基本方針として、「財団本部から示された新規約モデルに合わせ、内容は従来の支部規約・現状をそのまま反映する」、「新規約の施行日は、財団法人日本野鳥の会(財団本部)が公益法人日本野鳥の会に移行した日とする」とお知らせしましたが、その後議論を重ねた結果、「現在の規約をベースとして、新体制に適合するように改定する」、「施行日は、本年 11 月 1 日とする(財団本部の新体制移行が 10 月中の予定なので)」とする方がより実際的であると方向修正し、総会に向け、役員会でさらに検討が進んでいます。

●すでに名称変更も

関東ブロック内では4月中に、東京支部が「日本野鳥の会東京」に、神奈川支部が「日本野鳥の会神奈川」に、吾妻支部が「日本野鳥の会吾妻」に、それぞれ名称変更しました。

●事業部長交代

長年事業部長として支部活動の一端を支えてきた福井恒人幹事(さいたま市)が部長を退任、4月18日に開かれた役員会で、後任に大坂幸男幹事(上尾市)＝写真8ページ＝が就任しました。

事業部の活動は、収益目的ではない会員の利便のための販売事業活動です。引き続き会員の皆様のご理解ご支援をお願いします。

●探鳥会緊急連絡カードのダウンロード

4月の探鳥会から無料配布を始め、ご好評をいただいている探鳥会緊急連絡カード。より楽しくお使いいただけるように、支部ホームページから用紙をダウンロードして、パソコンで記

入できるようにしました。氏名欄も様々な色彩を駆使して、個性豊かな記入ができます。

支部ホームページTOP右下の該当欄をクリックして入ります。会員でも会員ではない方でも、どなたでもご利用いただけます。

●会員数は

5月1日現在 2,070 人です。

活動と予定

4月10日(土) 5月号校正(大坂幸男・内藤義雄・長嶋宏之・藤掛保司・山田義郎)、11日(日)同(海老原美夫)。

4月18日(日) 役員会(司会:長野誠治、各部の報告・新事業部長・新規約案・新年度役員候補・その他)。

4月19日(月) 「支部報だけの会員」に向け4月号を発送(倉林宗太郎)。

4月30日(金) 『さわやかよみうり』6月号バードウォッチング特集の取材に対応(海老原美夫)。

●6月の予定

6月5日(土) 編集部・普及部・研究部会。

6月12日(土) 7月号校正(午後4時から)。

6月19日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

6月20日(日) 役員会(午後4時から)。

編集後記

4ページ記録委員会の「キマユムシクイとして記録できない」との報告。では何だろう? 文中にもある通り、記録委員会は識別委員会でも同定委員会でもなく、記録するかどうかを判断するのが役目ですが、多くの委員はメボソムシクイではないかと考えています。2本の翼帯だけでキマユムシクイであると即断してしまうと、間違いが起こることもあるようです。(海)

しらこぼと 2010年6月号(第314号) 定価 200円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号

TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://35.tok2.com/wbsjsaitama/>

編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル

(財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5436-2630 FAX 03-5436-2635

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。

印刷 関東図書株式会社